

安全性を損なわずに人工肺内圧上昇に伴う問題を低減するための提案

a. 人工心肺開始時ACTの新しい基準とヘパリン投与量

➤ 人工心肺開始時の目標ACT 480秒以上

(心肺開始10分[600秒]前のヘパリン投与を推奨)

➤ 初期ヘパリン投与参考量 300単位/kg以上

安全性を損なわずに人工肺内圧上昇に伴う問題を低減するための提案

b. 人工肺手前圧上昇に伴う人工肺交換の判断に有用なモニタリングと指標

➤ 臨床的人工肺送血抵抗 **ΔP 値** のモニタリング
(人工肺手前圧－送血管手前圧またはフィルター手前圧＝ **ΔP 値**)

➤ 人工肺手前圧の異常上昇判断:

ΔP 値が通常の2倍以上

➤ 人工肺手前圧単独での判断 **400mmHg以上**

(少なくとも400mmHg以下では人工肺交換は不要)

安全性を損なわずに人工肺内圧上昇に伴う問題を低減するための提案

- c. 術前に実施すべき凝固系検査項目の追加と情報のチーム共有
- 抗凝固についての情報を、事前に執刀医、麻酔科医、技師を含めた体外循環チームで情報共有
 - **APTT**(活性化部分トロンボプラスチン時間)や**PT**(プロトロンビン時間)の測定